

災害訓練 を行いました



被害状況を確認する本部

2月4日(土)に職員109名が参加して災害訓練を行ないました。

京都府南部を震源とする震度6弱の地震が発生したことを想定した訓練です。今回の訓練の目的は、地震直後の初動訓練と160分までの訓練によって、地震発生から本部の立ち上げをする。本部内に設置した部門の責任者と役割を明確にする。各部署は、責任者を明確にして、予め準備しているミッションシートを基に行動する。傷病者を受入れて、トリアージを行って診療にあたり、病状に応じて設置した災害病棟へ搬送する事です。

又、災害時に透析を継続するために、水の重要性を管理者が認識することも目的としました。訓練中の本部では、本部長の指示により、各部門が部署から届けられる被害報告に基づいて



病棟から情報集約部門に被害報告書が届けられる

運ばれた患者を対応するスタッフ

処理を行ないました。

運び込まれた模擬患者に、医師、看護師、事務員がチームを組んで対応しました。

今回の訓練によって、被害報告書の様式や入院受入可能数の把握など不十分な対策がたくさんあることにも気付け、それらの部分を改善し、いつ起こるか分からない大規模な災害に備えていきます。

中央病院災害対策チーム

KMCH
つうしん
春号

編/集/後/記

暖かい日差しが心地よい日が続いています。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。春は新しい出会い、出発の季節です。私は少し休んでいたお散歩を再開し健康維持に向けて“再出発”したいと思います。

本号では当院の呼吸器内科のご紹介もさせていただきます。

5月には長く続いた新型コロナ感染症とのお付き合いも、新たなステップに進んでいくことと思います。公園で木々を眺め、マスクを外して深呼吸をし、五感をつかって新緑の季節を楽しみたいですね。今後ともよろしくお願ひ致します。

(看護部 藤田紫保)

- 発行責任者 広報委員会
- 写真撮影 放射線技術課/大下真

京都民医連中央病院 病院報 (季刊 年4回発行)

かかりつけ医とともに なくてはならない病院を めざして

KMCH つうしん
Kyoto Miniren Chuo Hospital

受診
される際には
紹介状をご持参
ください

14

2023 春号

地域・他診療科とも連携 呼吸器疾患だけにとらわれない 診療を実践



UTOIMAGE/PIXTA (ピクスタ)

広報委員会
より

病院報「KMCHつうしん」アンケートのおながい

いつもお読みくださりありがとうございます。さらに役立つ紙面にするため、みなさまからの声をお聞きしたく存じます。はがき、または右記QRコードをお読み取りいただきアンケートにご協力ください。

締め切り
6月30日
まで



救急告示病院

厚生労働省指定基幹型臨床研修病院



ISO 9001
認定取得



卒後臨床研修評価機構認定病院



日本医療機能評価機構認定病院



在宅療養
あんしん
病院



一般財団法人 日本医療教育財団
外国人患者受入れ医療機関
認証制度

入院・診察のご相談は

ちいき総合サポートセンター/地域医療連携課まで

TEL 075-861-2650
専用

FAX 075-861-2544
専用

受付時間
月・水・金 8:30 ~ 19:00
火・木 8:30 ~ 16:30

TEL 075-861-2220

FAX 075-882-5781

ホームページ <http://kyoto-min-iren-c-hp.jp/>



公益社団法人 京都保健会



京都民医連中央病院

〒616-8147 京都市右京区太秦土本町2番1

